

製品名: PIASy ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16122**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	56kDa

抗原情報

遺伝子名	PIAS4
別名	PIAS4; PIASG; E3 SUMO-protein ligase PIAS4; PIASy; Protein inhibitor of activated STAT protein 4; Protein inhibitor of activated STAT protein gamma; PIAS-gamma
遺伝子 ID	51588.0
SwissProt ID	Q8N2W9
免疫原	抗血清はヒト PIAS4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 451-500

背景

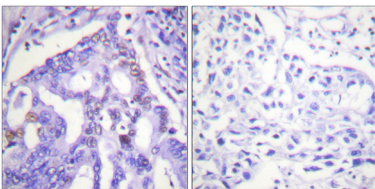
ドメイン:LXXLL モチーフは、転写共抑制に必須の共調節因子シグネチャーです。機能:E3 型小ユビキチン様修飾因子 (SUMO) リ

ガーゼとして機能し、UBE2I と基質との相互作用を安定化し、SUMO 係留因子として機能します。STAT 経路、p53 経路、Wnt 経路、ステロイドホルモンシグナル伝達経路など、さまざまな細胞経路で転写共調節として重要な役割を果たします。遺伝子サイレンシングに関与しています。PARK7 の SUMO 化を促進します。Wnt シグナル伝達では、LEF1 の SUMO 化を促進することで、LEF1 の転写活性を抑制し、TCF4 の転写活性を高めます。経路:タンパク質修飾; タンパク質の SUMO 化。PTM:SUMO 化されています。Lys-35 は SUMO 化の主な部位です。SUMO 化は、TCF4 の SUMO 化と転写活性化に必要です。LEF1 の転写活性を抑制します。SUMO1 が好ましいコンジュゲートです。類似性:PIAS ファミリーに属します。類似性:1 つの SAP ドメインを含みます。類似性:1 つの SP-RING 型ジンクフィンガーを含みます。細胞内局在:PML (前骨髄球性白血病) 核小体のサブセットにおいて、SUMO1 および TCF7L2/TCF4 および LEF1 と共局在します。サブユニット:AR、GATA2、LEF1、TP53、および STAT1 (IFNG 誘導) と相互作用します。マトリックスまたはスキャフォールド付着領域 (MAR/SAR) として知られる AT に富む DNA 配列に結合します (類似性による)。TICAM1 と相互作用します。KLF8 と相互作用します。この相互作用により、SUMO ライゲーションと KLF8 の転写活性の抑制、および細胞周期の G(1)期への進行が引き起こされます。組織特異性:精巣で高度に発現し、脾臓、前立腺、卵巣、結腸、末梢白血球でも低レベルで発現しています。ドメイン:LXXLL モチーフは、転写共抑制に必須の共調節因子シグネチャーです。機能:E3 タイプの低分子ユビキチン様修飾因子 (SUMO) リガーゼとして機能し、UBE2I と基質との相互作用を安定化し、SUMO 係留因子として機能します。STAT 経路、p53 経路、Wnt 経路、ステロイドホルモンシグナル伝達経路など、さまざまな細胞経路で転写共調節として重要な役割を果たします。遺伝子サイレンシングに関与しています。PARK7 の SUMO 化を促進します。Wnt シグナル伝達において、LEF1 の SUMO 化を促進することで、LEF4 の転写活性を抑制し、強化します。経路:タンパク質修飾; タンパク質の SUMO 化。PTM:SUMO 化されます。Lys-35 は SUMO 化の主要部位です。SUMO 化は、TCF4 の SUMO 化と転写活性化に必要です。LEF1 の転写活性を抑制します。SUMO1 が優先コンジュゲートです。類似性:PIAS ファミリーに属します。類似性:1 つの SAP ドメインを含みます。類似性:1 つの SP-RING 型ジンクフィンガーを含みます。細胞内局在:PML (前骨髄球性白血病) 核小体のサブセットで、SUMO1、TCF7L2/TCF4、および LEF1 と共局在します。サブユニット:AR、GATA2、LEF1、TP53、および STAT1 (IFNG 誘導) と相互作用します。マトリックスまたはスキャフォールド付着領域 (MAR/SAR) として知られる AT リッチ DNA 配列に結合する (類似性による)。TICAM1 と相互作用する。KLF8 と相互作用し、SUMO ライゲーションと KLF8 の転写活性の抑制、および細胞周期の G(1)期への進行の抑制を引き起こす。組織特異性:精巣で高発現し、脾臓、前立腺、卵巣、結腸、末梢白血球でも低レベルで発現する。

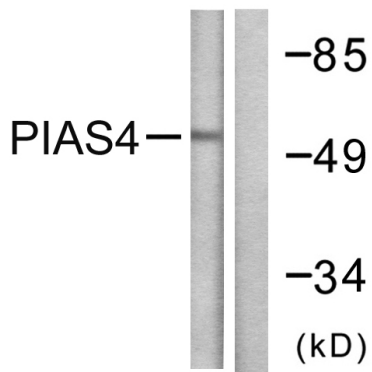
研究分野

ユビキチンを介したタンパク質分解、Jak_STAT、がんにおける経路、小細胞肺がん、

画像データ



PIAS4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



PIAS4抗体を用いたJurkat細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。